

# 急変時の対応 ラダーI (1年目)



## BLSとAED

目的 一時救急処置の意義を理解し、理論に基づいた技術と冷静に対応できる態度を学ぶ。



講師 金姫静 救急看護認定看護師 (1C病棟)



呼吸なし??



胸骨圧迫開始します!!



金さん



### 研修後の感想 ~ 6B病棟新人スタッフの感想です。~

- ・些細な患者さんの変化を捉えるためには日々の関わりが重要であること、周りの人との連携が大切であることを学びました。(田口)
- ・急変時に早く対応できるためには、日々患者さんに関わる中で毎日の観察・自分の持っている知識が大切であることを学びました。(神宮寺)
- ・BLSの研修を受け、講義・実践を通し、改めて気づきの大切さを学ぶことができました。日々の患者さんとの関わりでも、些細な変化に気づけ、急変前の対応ができるよう今回の研修の学びを深めていきたいです。(安田)



# 急変時の看護 ラダーⅡ (3年目)

ALS

目的: 医療現場での急変患者の対応として ALS の知識・技術を学び、実践能力を養う。  
所属部署で、急変時の看護の実際が理解できるよう適切な指導を行う。

## 感想

一年目(ラダーⅠ)は「何かおかしい? 気づく」に始まり、今回は数少ない実践場面で、まず何を行うのか、場面での役割行動の整理ができました。また、スタッフ同士のコミュニケーションの重要性を実感しました。

—受講者より



救急 Dr からレクチャーを受けます。  
今回は小林医師に協力依頼しました。



先輩Nsがファシリテーターとして  
各ベッドでサポートしています。



AEDを準備し、  
CPRを開始しよう  
としています。



AEDを装着し、  
CPR開始しました。



講師  
救急看護認定  
看護師  
上川智彦(4B)



教育委員 畑 ちはる  
ラダーⅠでは急変前の徴候に気づき報告できること、ラダーⅡでは、伝達、知識の習得の機会としています。「研修で学んだことをスタッフと共有する」ことが課題になり、課題達成により、来年度自信を持ってプリセプター役割を果たすことができるように研修を積んでいます。